

20.10.01～06

## 越冬前準備を探すⅡ

ギンイチモンジセセリ

この時期のギンイチは、夏の終わりに作った大きな巣から越冬用の巣になり、体も黄色くなってくる。

継続観察用に厚真でススキの幼虫を探した。(10/5)

- ①見つかった典型的な巣  
(吐糸で綴られた開放的な巣)
- ②ススキの葉の基部に食痕  
(吐糸で綴られた開放的な巣)
- ③葉の先端  
(葉の縁が閉鎖的)  
「食痕がないな」と思ったら
- ④巣の中にクモがいた
- ⑤近くの葉で幼虫発見  
開放的な、まだ建設中の巣のようだ。

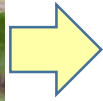


⑤



# ギンイチモンジセセリ

別個体



①越冬用に巣を裏打ち  
(腹側が見えている)

②終了後、葉の先に  
進み、頭を左右  
に振りながら吐糸。  
(1・2) 巣の拡張。  
糸がないところから  
動画でも撮影でき  
たので楽しめた



永盛さん合流後、10数頭発見できた。来春まで追えれば嬉しい。



# キマダラセセリ

キマダラセセリは北海道では見る機会が少なく、幼虫もなかなか見つからない。厚真では毎年成虫を見ることができ、今年の夏に「もしかしてキマダラセセリ？」の幼虫を10頭ほど発見。今回キマダラセセリと判明した(顔に明瞭な黄色い筋)。しかし消失個体が多く、現存は新個体を含め3個体のみとなった。



↑この巢中には発見できなかった。

↓継続観察中の個体



←粗い巢の新個体。  
顔の黄色い筋がよくわかる。  
今後越冬用の巢にしていくのだろう。

↓別個体。  
キマダラセセリは越冬用に巢を切り落とすので、追跡できるようピンクテープをくくりつけてみた。





# キマダラモドキ

キマモド野外幼虫は、永盛さんが伊達で発見した1例のみ。ここ五年間毎シーズン幼虫探索するも発見できず来ている。

現地採集の成虫から採卵・越冬後の幼虫を、昨春放し追跡するも、途中で消失。

今年は越冬前の幼虫を野外に放し、来春自ら食草を選び・食いつく幼虫を探す作戦にすることにした。

今回の作戦用に幼虫たちを小分けのボックスに入れてきた。→ ※百均グッズはととても重宝。なくてはならないグッズだ！(笑)



←現地採集の♀で採卵。卵は枯葉に産みつけられる。

孵化した1齢幼虫は体を寄せ合って越冬する。↓



こんな感じの幼虫たち→  
↓全部で数百頭？





# キマダラモドキ

ということで、来春への期待を込めて、  
現地の(こちらが考える)生育に良さそ  
うな環境へ幼虫を放す作業を行った。



①

②



②

③



①幼虫を近くの落ち葉ではさみ、  
ホッチキスで止める。

②近くに食べそうな？イネ科・カ  
ヤツリグサ科が生えている箇所  
を探す。

③ピンクの串をさし、ラベルをつ  
けておく。



「我々の選択」

♀がよく見られる

←明るい斜面

疎林と草原の間→



さあ、どうなるか、乞うご期待(笑)



# ゴイシシジミ

今年アチコチでゴイシシジミの姿を見ることが出来る豊作の年？再度ゴイシを。



小さな巣を開けて見ると、一齢幼虫が出てきた。→→→



←アブラムシの集団を歩き回る緑の三齢。

摂食を期待したが、ずっと歩き回るだけで、見ることはできなかった。

別の巣を開けると、やはり一齢幼虫→

この幼虫たちが越冬幼虫になるのだろうか？  
継続して見ていこう。





# ゴイシシジミ

久しぶりの安平の林道にもゴイシがいた。



(厚真)  
アブラムシからの吸汁集団に、もう一頭飛んできた→→→

←(安平10/6)  
なわばり飛翔を行っている♂同士が出会うと、このようにクルクルまわりあい、上空に上がってしまう。

お互いが相手を見ているのがわかる。

(厚真)  
交尾も初めて見ることができた→→→





# 安平～厚真林道の復興

厚真キマモド作業の後、ジャノメー齢を見た沢に夜間観察にいくも、全く発見できず。翌日、2018年の大地震で崩れて不通になった「安平～厚真」を結ぶ林道に入ってみた。



2020/10/6→  
左の写真の  
堆積土砂の  
先から撮影。  
(青矢印)  
この様に道路  
ができ、  
安平～厚真  
間が開通して  
いた。  
今も工事は  
続いているが  
着実に復興  
が進んでいる



↑2018/11/6  
林道の途中でこの  
ように崩れた土砂が  
道を被っていた。  
←来た道を見ると、  
この様に道が裂けて  
凹んでいた。

2020/10/6  
→  
未だに  
山肌は  
崩れた面を  
見せている。





ということで、10月調査終了。  
次回11月で今年は店じまいの予定。